MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

AI時代の店舗集客
6つの取り組み方

口コミ返信・Googleマップ・投稿・LINE・問い合わせ・数字の見直し。
毎日の集客作業に、AIを「下書き係」として組み込むための手引きです。

6つの型 **始める順番** **守ること**

合同会社MIGIUDE（店舗ビジネス専門の集客支援）
光るのは、お店だけでいい。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

AIは「下書き係」、決めるのは店主

用語の説明や仕組みではなく、日々の作業にどう組み込むかをまとめます。

基本の考え方

AIが得意なのは、材料をもとに文章の案をたくさん出すことです。反対に、事実の確認、お客様への責任、お店らしさの判断はできません。ですから、**材料（事実）は人が用意し、案はAIが出し、最後の確認と送信は人が行う**、という分担が基本になります。

6つの取り組みの型（一覧）

型	AIに任せる部分	人が持つ部分
1 口コミ返信	返信文の下書き	事実の確認・お詫びの判断・投稿
2 マップ情報の整備	説明文・質問と答えの整形	住所・時間・価格など事実の正しさ
3 投稿・写真説明	文案を3つ出す	選ぶ・写真との一致・期間や価格
4 LINE配信	短い配信文の案	送る相手・日時・送りすぎの管理
5 問い合わせ対応	返信の下書き	空き状況・約束・個別の判断
6 数字の見直し	違いの整理・次の案	数字の確認・何を試すかの決定

3ページ目からの読み方

各型を「向くお店／やること／人が必ず確かめること／やりがちな失敗」の4つで説明しています。すべてを同時に始める必要はありません。自分のお店で一番時間を取られている作業から、1つ選んでください。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

型1・型2

返信とマップ情報。お店の「顔」にあたる部分です。

型1 口コミ返信の下書き

向くお店	口コミが増えてきて、返信に毎回時間がかかるお店。
やること	口コミの文面をAIに渡し、お店の話し方（丁寧／親しみ）を指定して、返信の下書きを作らせる。お客様の名前や個人が特定できる情報は入れずに渡す。
人が必ず確かめること	事実と合っているか（来店の事実・メニュー名・日付）。お店の言葉づかいか。厳しい口コミへの返信は、お詫びと事実確認を人が決める。
やりがちな失敗	全部同じ文面になる。覚えのない出来事を認めてしまう。そのまま貼って、すぐ投稿してしまう。

型2 Googleマップ情報の整備（AIにも正しく伝わる情報にする）

向くお店	営業時間・メニュー・説明文が古い、または空欄が多いお店。
やること	店主が事実を箇条書きにして、AIに説明文やよくある質問の文章へ整えてもらう。整えた内容を、Googleマップ・HP・SNSで食い違わないようにそろえる。
人が必ず確かめること	住所・電話番号・営業時間・価格が正しいか。できないことを「できる」と書いていないか。
やりがちな失敗	AIが付け足した設備やサービスをそのまま載せる。「地域No.1」など根拠のない言い切りを入れる。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

型3・型4

投稿とLINE。発信の文章づくりを軽くします。

型3 投稿文・写真説明の下書き

向くお店	投稿のネタはあるが、文章を考える時間がないお店。
やること	写真を撮った日に、ひとことメモ（何を・なぜ・おすすめの点）を書き、AIに投稿文と写真説明の案を3つ出してもらう。その中から選ぶ。
人が必ず確かめること	写っているものと文章が合っているか。価格・期間・数量。「必ず効果が出る」などの表現が入っていないか。
やりがちな失敗	毎回同じ言い回しになる。実際にはない特典やキャンペーンを書く。

型4 LINE配信文の下書き

向くお店	LINE公式アカウントがあり、配信が止まりがちなお店。
やること	伝えたいこと（休業日・新メニュー・空き枠）を書き、短い配信文の案を作らせる。送る相手の絞り込みと送る日は人が決める。
人が必ず確かめること	日付・時間・料金。送りすぎていないか。お客様のお名前の差し込みが正しいか。
やりがちな失敗	宣伝ばかりになる。お客様の個人情報をAIの入力欄に貼る。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

型5・型6

問い合わせ対応と、数字の見直しです。

型5 問い合わせ対応の下書き

向くお店	予約や質問のメッセージが多く、返事が遅れがちなお店。
やること	よくある質問と答えを店主が用意し、それをもとに返信の下書きを作らせる。送る前に必ず人が読む。
人が必ず確かめること	空き状況・料金・キャンセルの条件。医療・法律・体調に関わる質問は、AIの文を使わず自分の言葉で答え、必要に応じて医療機関への相談を案内する。
やりがちな失敗	お客様のメッセージをそのままAIに貼る。AIが答えを作ってしまい、約束していないことを伝える。

型6 数字の見直し（週に1回・15分）

向くお店	数字を見る習慣がなく、何から直すか決められないお店。
やること	Googleビジネスプロフィールの数字（表示・電話・ルート検索など）を書き出し、AIに「前の週との違い」と「次に試すこと」の案を出してもらう。
人が必ず確かめること	数字の写し間違いがないか。原因を決めつけていないか。AIの案は仮説で、試すかどうかは自分で決める。
やりがちな失敗	数字の小さな増減に一喜一憂する。お客様ごとの情報まで貼ってしまう。

※AIの案は、毎回同じ品質とは限りません。出てきた文章は「たたき台」として扱います。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

始める順番と、守ること

小さく始めて、確認の習慣をつけてから広げます。

1 **まず1つの型を、2週間だけ試す**

一番時間がかかっている作業を選びます。口コミ返信か投稿文から始めると、取り組みやすいです。

2 **確認する人とチェック項目を決める**

「事実・日付・価格・言い切り」の4点を見る、と決めておくと迷いません。

3 **よく使う指示文をメモに残す**

お店の話し方や禁止表現を書いた指示文を保存し、毎回貼ると、文章がそろいます。

4 **慣れたら、次の型を1つ足す**

型2（マップ情報）を整えると、ほかの型の材料にもなります。

必ず守る4つのこと

1 **お客様の個人情報をAIに入れない**

氏名・電話番号・メールアドレス・予約内容・体調などは入力しません。必要なときは伏せ字にするか、削除してから使います。入力内容を学習に使わない設定になっているか、利用するサービスの設定と規約も確認してください。

2 **口コミの依頼で、対価を出さない**

Googleのポリシーでは、口コミの見返りに割引や景品を提供することは認められていません。依頼は「よければ感想を」とお願いする形にとどめます。満足したお客様だけを選んでお願いすることや、スタッフ・家族による投稿も認められていません。

3 **AIの文は、そのまま出さず人が確認する**

事実と違う内容が混ざることがあります。送信・投稿の前に、人が必ず読みます。

4 **ステルスマーケティングにしない**

知人やスタッフが一般客のふりをして書く、お金や商品をもらったのに表示しない、といったことは避けます。広告は広告と分かるようにします。

MIGIUDE
合同会社MIGIUDE

まず、Googleマップの状態を確かめる

どの型も、お店の基本情報が正しいことが土台になります。

1 **Googleマップの情報を、最新にしておく**

営業時間・電話・メニュー・写真を見直します。AIの文章づくりの材料にもなります。

2 **口コミへの返信ルールを、簡単に決める**

返信する期間、誰が確認するか、お詫びの言い方を1枚のメモにします。

Googleマップ無料診断（LINE）

診断では、Googleマップの登録内容の抜け・写真・口コミの入口を確かめ、当社の担当者が気づいた点をお伝えします。LINEからお申込みください。ご契約は任意で、無理な勧誘はいたしません。

無料診断（LINE）

https://lin.ee/YXCsrIb

じっくり相談したい方は、無料相談60分もご利用いただけます。

無料相談60分を予約する

https://www.migiude-group.co.jp/go/booking/?utm_campaign=dl-ai-shukyaku-patterns

※Google、Googleマップ、Googleビジネスプロフィールは Google LLC の商標または登録商標です。LINE、LINE公式アカウントは、LINEヤフー株式会社の商標または登録商標です。各社が本資料を提供・承認するものではありません。
※本資料は当社独自のものです。
※本資料は進め方の目安です。口コミ数・表示回数・来店・売上などの成果を保証するものではありません。AIサービスやGoogleのルール、法令は変更されることがあります（2026年11月時点）。最新は各公式でご確認ください。